

挑戦する心 第2弾～生徒たちの頑張りを紹介～

ファーストペンギン通信

2024 三芳グランド冬のジュニアコンペティション 14歳以下女子ダブルスで優勝 前田佳音(1年) 南葉結衣(1年)ペア



令和7年1月3日、埼玉県入間市三芳町にある豊島区立三芳グランド内テニスコートにおいて行われました。

前田さんと南葉さんは面識はあるものの、ペアを組むのは今回が初めてでしたが、よく意思疎通を行いうまくプレイが出来たそうです。特に決勝戦では、3対0とリードしていたにもかかわらず、3対3のタイブレークに持ち込まれました。しかし、決勝戦まで勝ち上がったことは初めてだったので、何としてでも優勝するんだと二人で気合を入れて頑張りました。

前田さんは、テニスを通じて獲得したいと考えていた「集中力」と「コミュニケーション力」を獲得・発揮しつつあるようです。

漢字能力検定合格者

漢字検定は年に4回(6・8・11・2月)実施しています。11月の第3回の検定では3級(中学卒業程度)に1名、2級(高校卒業程度)に1名が合格しました。2月7日の第4回漢字検定には5級に4名、4級に4名、3級に16名、準2級に8名が挑戦します。合格した人の準備期間や勉強方法を参考にして、合格目指して頑張ってください。

漢検3級:河野礼芽(2年)

初めて漢字検定に挑戦したのは小学校5年生ぐらいの時でした。持っていたほうが何かの役に立つと思ったことがきっかけで、7級を受検しました。今回3級に挑戦するにあたり、検定日の3週間ぐらい前から準備を始めました。3級の範囲の漢字の読み書きを練習し始め、2週間前からはひたすら過去問を解きました。次は準2級や2級に挑戦していきたいです。



漢検2級:伊藤麻那(2年)

漢字検定に挑戦するきっかけは検定に合格していることは将来役に立つと思ったからです。私は英語が得意ではないので英語検定よりは漢字検定のほうが勉強しやすいと感じたこと、また漢検を持っていない姉に自慢できる部分がほしかったというもあります。

今回2級に挑戦するにあたっては1ヶ月くらい前から準備を始めました。親や先生にももらった過去問をひたすら解いたり、YouTubeを活用して2級の範囲の苦手な四字熟語を隙間時間に勉強したりしました。

漢字検定2級に合格したことで自信を持てたので、次は英検にチャレンジしたいです。英語が苦手なのでしっかり勉強して中学生のうちに3級に合格したいです。

第 32 号

発行日

2025年
1月 14日
(火)

発行人

八王子実践
中学校
教頭
石川教史



令和6年中学生の税の作文優秀賞受賞 加藤まお(3年)

内容を紹介しましょう。

『税金が高くなることによるメリットとデメリットについて考えました。まず、税金が高くなっている原因を挙げます。少子高齢化で、社会保障の

ための費用も増えています。他にも公共事業、学問の支援、国防などに使われているからです。

また、現在の社会保障制度を次世代に引き継ぐためには安定的な財源が必要ですから、すべての世代が税金を負担できるように消費税が導入されたのです。メリットとして社会保障が充実したり、災害復興の財源を確保しやすくなります。一方、デメリットとしては国民一人あたりの負担が増え、その結果景気が悪くなり、消費活動が低下する恐れがあります。以上のこと

を知って、消費税が引きあがることは国民のメリットにはあまりならないという印象を持ちました。

しかし、税金についての学習から、税金の大切さに気付くことができました。それだけでなく、税金で困る人、悪いことを考える人も出てくると知りました。そういった人を一人でも少なくするために助け合い、今自分たちが出来る事をしていきたいと思えます。将来の納税者として。』

